

電気設備の年次点検時 トラブルで長時間停電

特別養護老人ホーム サンローズオオサカ様
<https://www.omichikai.or.jp/sunrose/>

『サンローズオオサカ』は1997年、大阪市東成区では初めて誕生した特別養護老人ホーム。

導入の目的

社会福祉法人山水学園の特別養護老人ホーム、サンローズオオサカがパーソナルエナジー・ポータブルを導入した目的は、急な停電や災害時において、高齢者の生命維持機器や施設設備の動作を確保し、安全かつスムーズな避難を可能にすることでした。

電気設備の年次点検時の事故により、5時間以上の停電を経験したことで、本当にどんな危険があるのかを身をもって体験しました。長時間停電により、吸引機や他の設備が使用不能となり、高齢者の安全に影響が出ることや、1階や特に地下は真っ暗で1メートル先も見えないのでケガをすと思いました。

この経験から、急な停電にも対応でき、かつ移動可能で大容量出力が可能なパーソナルエナジー・ポータブルの導入を決断いたしました。

課題の解決

導入の背景には、電気設備の年次点検時の事故による長時間の停電があり、介護に必要な生命維持機器やエレベーターが5時間以上使用できなくなりました。全く想定外の停電事故でした。

これにより、急を要する介護が滞り、施設全体の避難や機能の確保が困難になるといった課題が浮き彫りになりました。

パーソナルエナジー・ポータブル導入により、災害時における停電への迅速かつ確実な対応が可能となり、その手軽さや何よりも安全性の高さは他の選択肢よりも優れていると思います。

BCP対策において、導入の価値を実感しています。

導入後の効果

1. キャスター内蔵で移動が楽、高い安全性

施設は急な停電や災害にも迅速かつ確実に対応できるようになりました。

2. 停電時の通信インフラ継続

常時電力を確保し、通信の断裂を防ぐことで、施設内の機能を維持し、入居者の安全を守る手段が整いました。

3. 介護作業の効率向上と迅速な緊急時対応

移動が容易なポータブル性と無停電の特長は、介護作業の効率を向上させ、緊急時の迅速な対応を可能にしました。



AT A GLANCE

構成機器

- Portable Power HPP-2000
- Battery Bank HBB-1000

導入効果

- 施設内での移動が容易
- 停電、復電時「0」無瞬断切替
- 5年間の保証



竹谷 良幸 様

サンローズオオサカ 施設長

- あなたの声を（声にならない声も含め）大切に受け取る（愛）
- どんな支援も「できない」ではなく、「やってみる」から始める（挑戦）
- 仕事に誇りも持つ

以上を行動指針とし、ご利用者の可能な限りの個別支援に職員一同、努めています。

いざと言う時、 発電機の使用方法や管 理方法を分る職員が いない。

有限会社 ケアーセンター39 様
輝39グループは堺市で医療ケアに特化したサービス
グループでの包括的な介護支援を行っています。

導入の目的

以前より酸素濃縮器を使用する利用者様への停電対策を検討して
いたところ、同業他社の社長から自社でも導入しているとパーソ
ナルエネルギー・ポータブルを紹介いただいたのがきっかけでした。

当社は太陽光発電と蓄電池を備えた建物ですが、蓄電池から使え
る電源が足りていませんでした。

また、酸素濃縮器を使用している入居者様がおり、停電対策とし
て発電機や蓄電池を導入済みでしたが、肝心の酸素濃縮器へのバッ
クアップ電源がありませんでした。

課題の解決

輝ケアセンター39では喀痰吸引等の業務従事者の人材不足の解
消を目的に喀痰吸引等行為の研修を行っています。

喀痰吸引器にはAC100Vが必要なため、万が一の停電時に備えて発
電機を用意いたしました。

発電機メーカーお客様相談室に使用方法について確認したとこ
ろ、保有の発電機から医療機器への電力供給はお勧めしないことや
エンジントラブル等による保証はしないこと、定期点検は必ず販売
店に依頼するなどを伝えられました。

せっかく停電対策として機器を導入しても、急な停電時に電源を
供給が出来なかったり、エンジントラブルや点検などが必要な機器
では、限られた職員だけでは対応できません。

また、発電機は排気ガスの問題もあり、屋外でしか使用できない
ため、電気機器までの配線が必要です。

こうした経緯から、いつでも、どこでも、安全に使えるパーソ
ナルエネルギーポータブル導入は当所には最適だと思いました。

導入後の効果

1. 非常時に即時で使える速効性

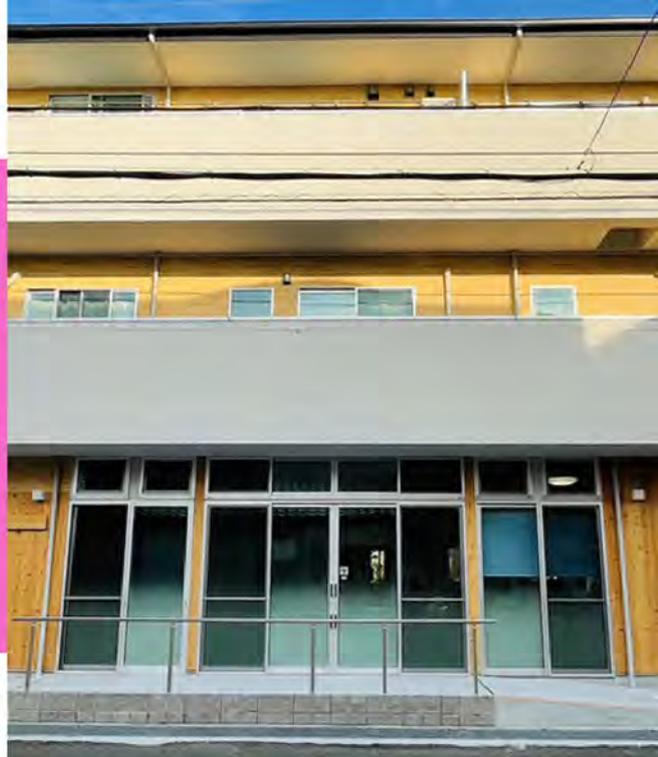
急な停電や災害でも、電気の無いフロア、場所でも、コンセントと
同じ電気が使えるようになりました。

2. 高い安全性

充電時や保管時に発火が相次ぐリチウムイオンバッテリーと異な
り、常時使用で5年間の保証が安心です。

3. 完全リサイクルの高い環境性

海外製リチウムイオンバッテリーは日本国内での廃棄が出来ないと
聞き、不安でしたが、本製品は国内で完全リサイクル処理が可能な
ので5年後も安心です。



AT A GLANCE

構成機器

- ・ Portable Power HF-2000
- ・ Battery Bank HBB-1000

導入効果

- ・ 屋内でも移動使用可能
- ・ 吸引器での使用ができる
- ・ 誰もが簡単に操作できる



山下 美由紀 様

有限会社 輝ケアセンター39 代表取締役

誠心誠意ご利用者本位のケア 法の遵守・安全の
確保・迅速な対応を心がけています。
重症心身障害児者や医療的ケアのある方々が住み
慣れた地域での生活を継続できる環境のためには
「福祉と医療の連携」がとても重要です。

関空水没の2018年 台風21号停電を経験

株式会社けやきサポート 様

大阪・堺市にある住宅型有料老人ホーム「けやきハウス」は、プライベートにも配慮した環境の中、介護・医療と連携、高齢者を支援するサービスを提供しています。

導入の目的

2018年9月4日、関西に上陸した台風21号は死者14人の人的被害をもたらしただけでなく、暴風で流されたタンカーが関西国際空港の連絡橋に衝突し、人と物の流れがストップするなど、経済にも大きな爪痕を残しました。

最大瞬間風速は関空島で58.1メートル、大阪市中央区で47.4メートルを記録した4日夜、暴風で倒れる電柱も相次ぎ、各地で停電が起きました。

堺市の当施設周辺も1時間程度の停電が発生しましたが、たん吸引の利用者がいるので心配でした。

既存の2施設を含めて災害時でも止まらない電源を取り入れたいとの思いから急な停電にも対応でき、移動可能で大容量出力が可能なパーソナルエナジー・ポータブルの導入を決断いたしました。

課題の解決

この台風21号が教訓となったのは「備え」の大事さです。驚いたのは、停電が続いた地域では単一乾電池が品切れになっていくことでした。

単一は懐中電灯やラジオなどに多く使われていますが、単3や単4に比べて流通量が少ないため、店頭在庫もそんなに多くはないとのことでした。

台風は進路の予想により、事前にある程度の備えが出来ていました。

しかしながら、停電対策として機器を導入しても管理をする者がおらず、急な停電時に電源を供給する対応が出来なかったり、エンジントラブルや点検などが必要な機器は、専門でない人員では対応が難しいと思います。

停電への備えは、すぐに、誰でもが簡単に、安全に使えるに尽きると思います。

パーソナルエナジーポータブル導入は当所には最適な答えでした。

導入後の効果

1. 非常時も通常時と同じに使える簡易性

施設は急な停電や災害にも、通常時と同じ電気が使えるようになりました。

2. 高い安全性

充電時に発火が相次ぐリチウムイオンバッテリーと異なり、陸海空で高い安全性能を認証されていることが安心です。



AT A GLANCE

構成機器

- Portable Power HPP-2000
- Battery Bank HBB-1000

導入効果

- 施設間での移動が容易
- 停電時も通常時と同じ安心感
- 3セット導入による相乗効果



宮瀬 たまき 様

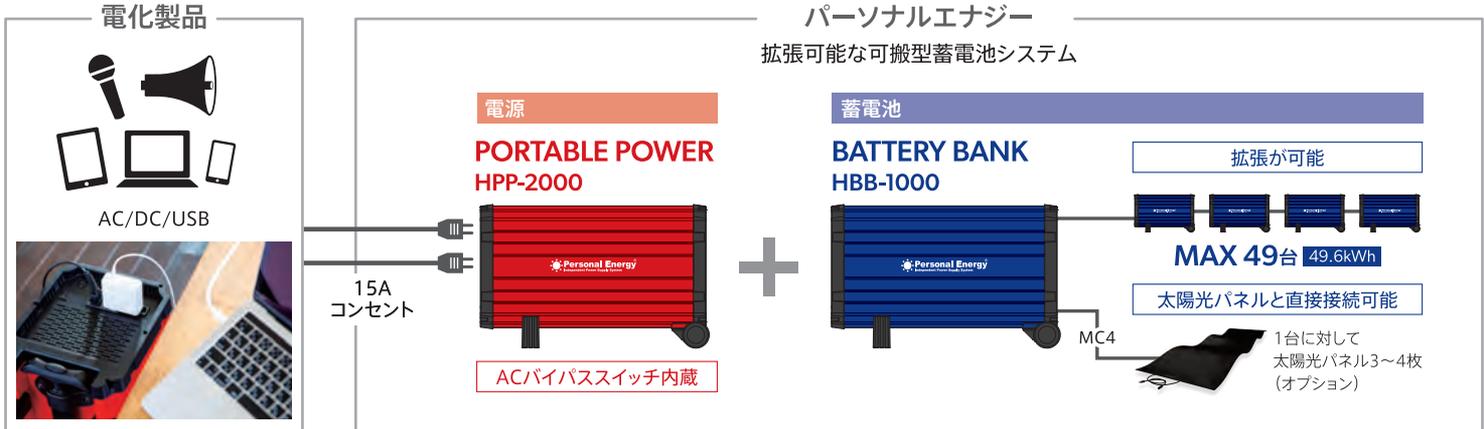
株式会社けやきサポート 代表取締役

住み慣れた地域でその人「入居者様」を支え、人生の最終段階（看取り）まで、その人の価値観や信念が尊重され、尊厳を持って、「その人らしく」過ごせるように寄り添い（介護）、看守り（看護）支援していくことが私たちの使命です。

大容量可搬型蓄電池システム [パーソナルエネルギー]

車や電車で運べるため、家の外でも家の中と同じように自由に電気が使え、環境を叶えます。
イベントや医療機器電源としても利用可能。もちろん、停電時でも安心です。

概要



特徴

- 災害時でも一人で運べるキャリー・ロードキャスター付き電源。
- 最大出力3000W (商用電力・発電機接続時) 15Aコンセント2系統装備。
- 電子機器から、電動工具、ヒートポンプの運転まで、幅広い負荷要求に対応。
- 1kWhホットスワップバッテリーBATTERY BANKは最大49ユニット接続が可能。
- 最大49.6kWh大容量バックアップ電源として車内、船内、テレワークにも最適。
- BATTERY BANKと太陽光パネルはMC4直接入力。
- 太陽光発電、発電機、系統電源など入力電源を問わず、安定した充電が可能。



通常の蓄電池では使用できない電気製品にも接続が可能

Load Type	PORTABLE POWER × 1	PORTABLE POWER × 1 + BATTERY BANK × 1		PORTABLE POWER × 1 + BATTERY BANK × 2		PORTABLE POWER × 1 + BATTERY BANK × 3		PORTABLE POWER × 1 + BATTERY BANK × 49	
		32時間	53時間	73時間 (3日)	1010時間 (42日)				
小型家電の使用可能時間	ファン (50W)	12時間	32時間	53時間	73時間 (3日)	1010時間 (42日)			
	ライト (12W)	50時間	135時間	220時間	305時間 (12日)	4215時間 (175日)			
	スマートフォン (10W)	60時間	163時間	265時間	367時間	5050時間			
	小型冷蔵庫 (40W)	15時間	40時間	66時間	91時間 (3.5日)	1260時間 (52日)			
	TV (60W)	10時間	27時間	44時間	61時間 (2.5日)	840時間 (2日)			
	ノートPC (50W)	12時間	32時間	53時間	73時間 (3日)	1010時間 (42日)			
通常の蓄電池では使用できない電気製品の使用可能時間	エアコン (500W)	1時間	3時間	5時間	7時間	99時間 (4日)			
	ヒーター (1kW)	0.5時間	1.5時間	2.5時間	3.5時間 (12日)	49.5時間 (2日)			
	超低温冷凍庫 (250W)	2時間	6時間	10時間	14時間	198時間 (8日)			
	インキュベーター (培養器) (250W)	2時間	6時間	10時間	14時間	198時間 (8日)			
	酸素濃縮器 (50W)	12時間	32時間	52時間	72時間	992時間 (41日)			
	電動工具の充電 (18V/2AH)	15回	40回	65回	90回	1975回			

5年保証
標準装備

「ポータブルパワー」「バッテリーバンク」ともに5年間の性能保証が標準装備。
万が一の故障の際も、回数・金額無制限の無料修理が受けられます。

製品仕様などのより詳しい情報をご覧ください。

<https://www.ieee802.co.jp/ppower-bbank/>



開発製造販売元



慧通信技術工業株式会社

本社営業部 〒650-0041 神戸市中央区新港町8-2
TEL.078-335-0882 FAX.078-391-1010
E-mail sales@ieee802.co.jp